þ Ē

国鉄闘争全国運動事務局

る文章です

|連合支配の危機

民間労組、

官公労と決別を」と題す

が昨年11月3日付産経新聞に寄稿した

それを最もよく表すのが櫻井よしこ

2015年7月9日発行 千葉市中央区要町2-8 DC会館内 nationwidemovement@yahoo.co.jp



立脚すべきか」と問い、「企業ととも 言っています。 謳うUAゼンセンのようになるべきと ついま、労働組合はどのような考えに に働き、国益を忘れてはならない」と 櫻井は「日本が大きな曲がり角に立

ならないように国家権力は国家の安全 憲法に明記せよ」「現行憲法の改正を 主権が侵され、国民を守れない事態に 会で「他国またはテロによって国家の 是とする方向を支持する」と見解を発 保障体制を保持する義務があることも 前身のゼンセン同盟は06年第5回大

が信ずる方向に変えて行くことができ よ」と訴えているのです。 る。官公労と決別し、連合を分裂させ な労組に立ち戻ることで、日本を自ら 民間労組は連合から分かれ、再び健全 櫻井は最後に、「UAゼンセン以下

徴兵制賛成の労働組合

働運動の理念とせよ」と主張していま 愛国主義、憲法改正、原発推進」を「労 櫻井は、UAゼンセンの「企業防衛、

よって作られた労働組合です。UAゼ ンセンは元々は繊維関係の産業別労働 Aゼンセンは資本と政府の手に

悪など労働法制について議論し、

表しています。

安保法案をめぐる攻防が緊迫してい

安倍は「戦争をする国」をつく

ます。 合内)最大勢力である」と強調してい 上げ、「改憲支持を明確にしたゼンセ ン同盟はいまUAゼンセンとなり、(連 櫻井はこれを「立派な内容」と持ち

るために労働運動を解体し、

産業報国

会化しようとしています。

を嘆いています。 間労組は「何のために運動…」と現状 らないのは原発問題も同様」とし、民 にされたまま」「民間労組の主張が通 場で、UAゼンセンの主張は置き去り は継続するが改正は時期尚早という立 しかし、「だが連合自体は憲法論議

かに支持したUAゼンセンの理念は、 倒するにもかかわらず、連合は基本的 540万、自治労や日教組などの官公 主軸となっている多くの組織で全否定 連合、その地方組織、彼らが事実上の 開され、地元の自治労や日教組が前面 各地で反基地、憲法改正反対運動が展 されているのだ」と労働者の闘いに打 に立って旗を振る」「憲法改正を高ら に官公労に引っ張られている」「地方 労は120万、9対2で民間労組が圧 櫻井は「連合内の民間労組組合員は

撃を受けています。 です。

日銀総裁が参加しました。 連合の結成以来はじめて経団連会長や みました。今年の連合新年交歓会には 労使会議という連合を組み敷く枠組み あった連合会長との会談を拒否し、政 ことに全力を挙げてきました。恒例で を作り、「官製春闘」に連合を取り込 しかし、それはうまくいっていませ 安倍は就任以降、連合を分裂させる

す。会談は2時間にわたって行われ、 で報告された6月26日の夜に、安倍は させようとしています。 はUAゼンセン会長の逢見直人を就任 津里季生(現事務局長)、事務局長に ん。安倍は連合会長・古賀伸明を10月 国会で審議中の安保関連法や派遣法改 逢見と総理公邸で極秘会談していま で退任させ、その後任に基幹労連の神 この人事が連合内の役員推薦委員会

(15時~17時、衆院第二議員会館前)

なのです。 こさせないためにつくられた労働組合 非正規労働者や女性労働者の反乱を起 従業員を丸ごと組合員にする方法で

会社とユニオンショップ協定を結んで 数年で140万人の日本最大の労働組 化学などの労働組合を飲み込み、この あり女性です。その組織化の方法は、 合に育成されました。 組合にすぎません。それが流通・情報・ 組合員の半数以上が非正規労働者で

で集団的自衛権や改憲が進んでいるの める労働組合が育成され、それと一体 明することになり、不適当だから削除 ということは、自ら戦わないことを表 しろ」と要求しています。徴兵制を認 権国家である以上、徴兵制をとらない UAゼンセンは、連合本部に対し「主

■UAゼンセンと密談

安倍と非和解的激突となり、その中か がら戦争に突き進む以外にありませ 壊し、労働者が生きる基盤を破壊しな れています。 ん。「生きさせろ」の要求がますます ら労働運動が力を取り戻す条件が生ま アベノミクスの崩壊が始まり、安倍 雇用・年金・社会保障・地方を破

るのは新たな国鉄闘争の発展のもとに して完成することを阻んできました。 きい。国鉄闘争は連合が産業報国会と 絶対反対で闘ってきた意味は本当に大 国鉄分割・民営化に30年にわたって 安倍や葛西、櫻井が真に恐怖してい

とがますます決定的です 争全国運動の本格的発展を勝ち取るこ 最高裁反動判決をうち破り、 労働者の怒りが結集し始めていること

たといいます。UAゼンセンを先兵に も定期的に意見交換することで一致し する労働運動をつくり出す意図を持つ 連合を分裂させ、改憲と徴兵制を推進 て会談が行われたことは明白です。 一方、先日行われた都高教大会では、

る激しい攻防が始まっています。 われています。日教組でも戦争をめぐ のスローガンを大きく後退させたと言 組合本部が「教え子を戦場に送るな」

|全国運動の発展を

営化」攻撃でやろうとしています。 こそ国鉄闘争が決定的です。 られなかったことを「第二の分割・民 安倍は国鉄分割・民営化で成し遂げ 今

こともできました。しかし今は新自由 き落とされてきました。 莫大な利益をあげ、膨大な労働者が突 刻さ、帝国主義の危機の深さがありま す。この30年、一握りの資本家だけが 主義のすべてが破産したなれの果てで な社会がやってくる」と幻想をあおる す。これまでは「痛みに耐えれば豊か 何より、労働者の置かれた現実の